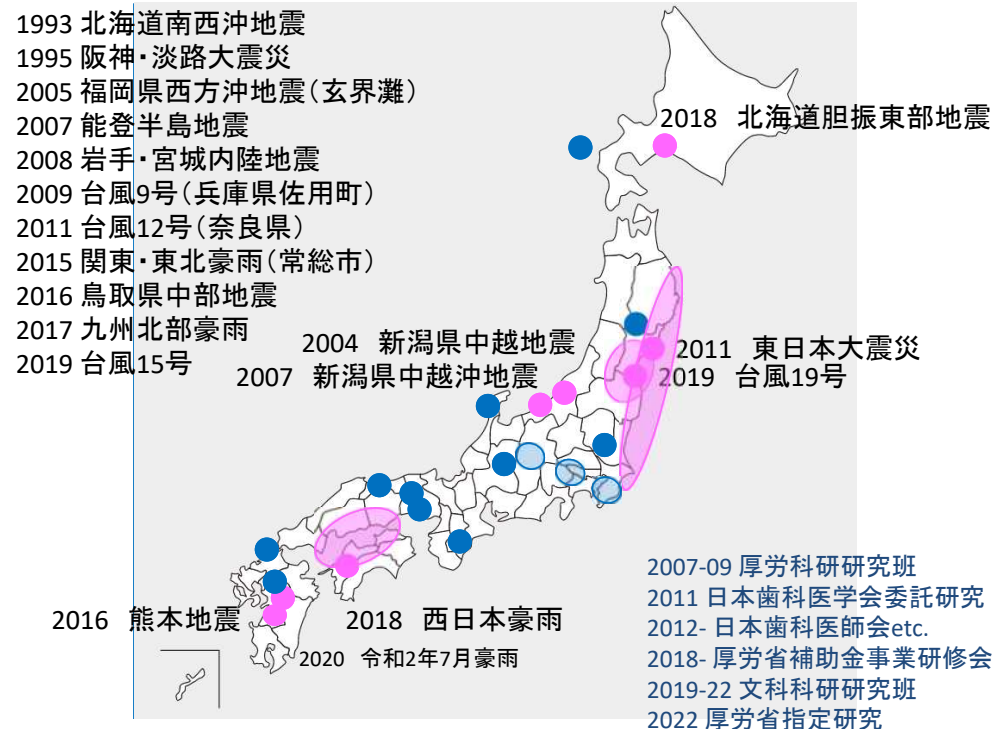


歯科福祉センターに期待される 災害時対応

2023年2月10日(金) 13:00~14:00 (うち50分?)

宮崎市郡歯科医師会

東京医科歯科大学 救急災害医学分野 非常勤講師(客員教授)
千葉大学 大学院 医学研究院 法医学 特任研究員
岩手医科大学歯学部・長崎大学歯学部 非常勤講師
日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人
中久木 康一
nakakuki@biglobe.jp



No taping, No Posting
お顔、お口は

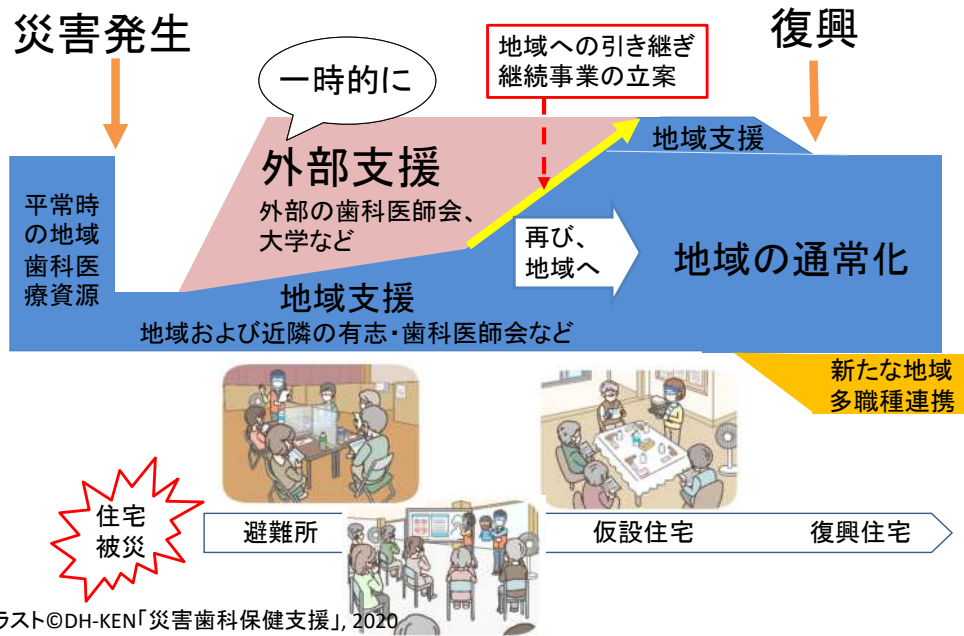


本オンライン研修会における映像・音声の、
撮影・録音・画面キャプチャーなどの保存は、
禁止します
一部または全部を、無断で複製・二次利用・
公開などする行為は、著作権法違反に
問われる場合があります

歯科福祉センターに期待される 災害時対応

- 災害歯科保健医療とは
- 災害時要配慮者への対応
- 歯科福祉センターに期待される役割

災害時歯科支援の引き継ぎへの流れ



災害時の歯科の役割

連携先

- 身元確認**
 - ご遺体の歯科的所見を採取する
 - 生前歯科所見を収集する
 - 照合して意見書を書く

警察
海上保安庁
監察医
など...
- 歯科医療**
 - 歯科医療提供体制を継続・なるべく早く復旧する
 - 新たなニーズに対する応急歯科対応をする(救護所・避難所など)

災害拠点Hp
DMAT/JMAT
日本赤十字社
災害医療Co
など...
- 歯科保健**
 - 地域の歯科保健管理を継続する
 - 新たなニーズに対する歯科保健活動を行う(避難所・介護福祉施設・仮設住宅など)

自治体/保健所
保健センター
地域の事業所
地域包括支援センター、など...

災害時の口腔保健, 口腔保健・予防歯科学(第2版), 医歯薬出版, 東京, 2023

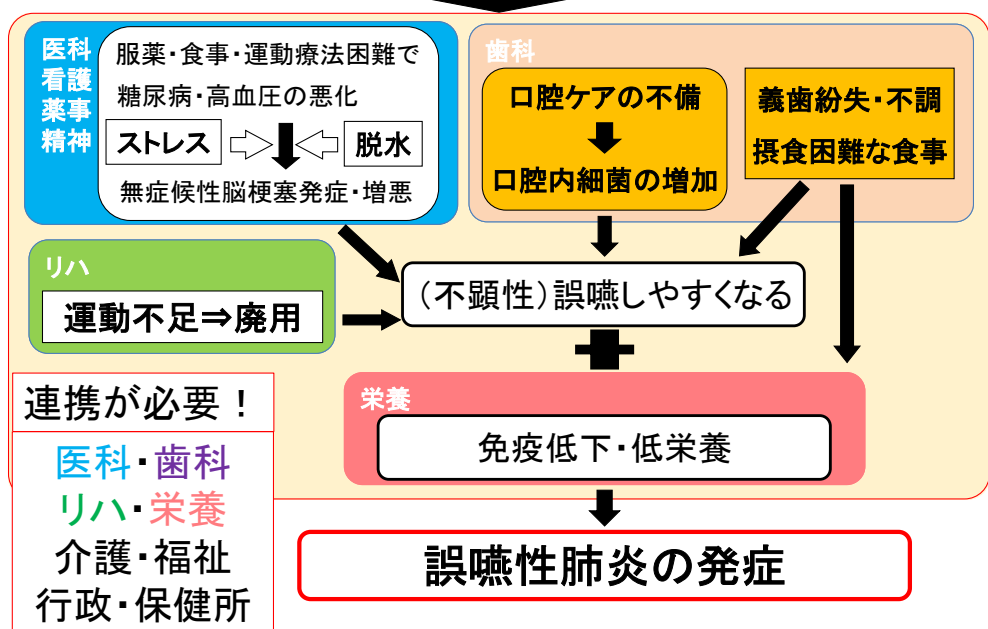
許容量を超えた避難所で予想される事態

<p>避難者</p> <p>生活リズム変化 集団生活のストレス プライバシー欠如 睡眠の質・時間悪化 食物・飲料不足 排泄の制限</p>	<p>避難所運営者</p> <p>統制力不足 クレームへの対応 マンパワー不足 運営側の混乱 弱者への配慮不足</p>	<p>震災後肺炎の高リスク者</p> <p>高齢者・要介護者 避難によりADL(日常生活動作)が低下した人 もともとADLが低下していた人 併存疾患(基礎疾患)を持っている人 低栄養 災害被害が大きい地区の人</p>
---	--	---

続発症リスク増大

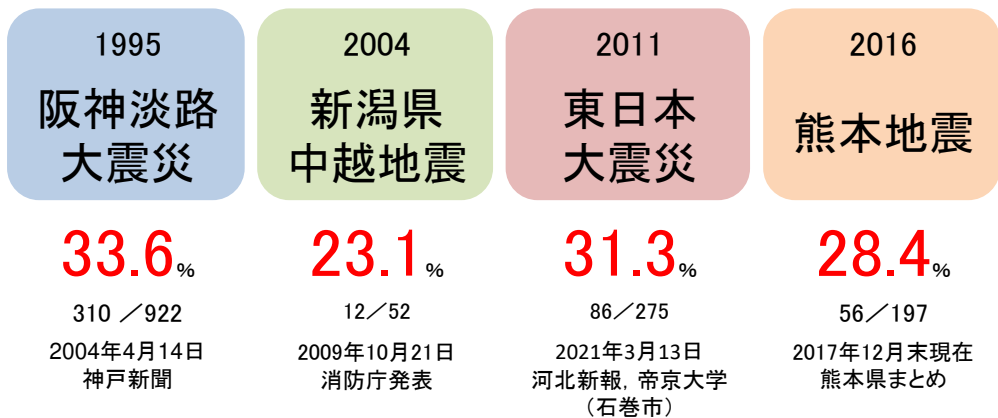
前田圭介, フレイル高齢者には早期に多面的食支援を, 地域保健 2017年11月号 P34-37

災害時の環境: ライフライン不備、食糧・水不足、睡眠・トイレ不足



避難所の歯科保健の重要性, 地域保健, 2022年7月号, P36より改変

呼吸器疾患＝災害関連死の30%



災害関連疾病の予防を目的とした災害時要配慮者等に対する**健康支援活動が重要**

避難所の歯科保健の重要性, 地域保健, 2022年7月号, P36より改変

災害後の体調不良

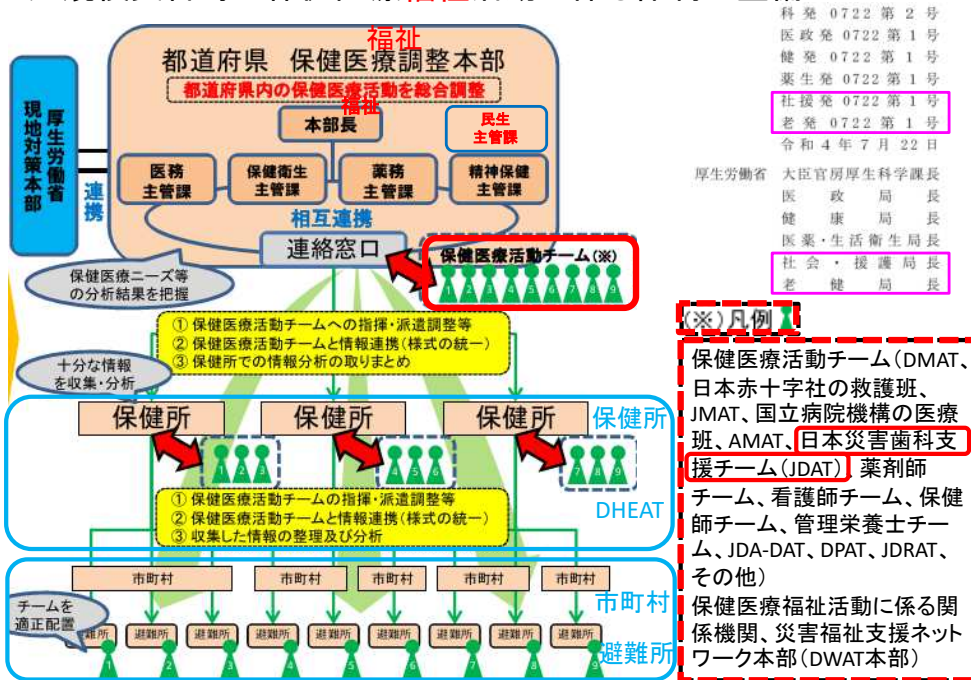
呼吸器感染症、
胃腸炎等の
急性疾患
(発災～1ヶ月)

しばらくたってから
だんだん増えてくる

直後に多い！
だんだん減ってくる

高血圧、腰痛、
皮膚炎、不眠症等の
慢性疾患
(発災後1ヶ月～)

大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について



大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について, 令和4年7月22日

被災者の皆さまへ 避難所生活で健康に過ごすために ～以下の点にご注意ください～

水分・塩分
補給

食中毒
注意

うがい
歯みがき

マスク着用

① 水分・塩分補給
をこまめに

トイレに気になって水を飲む量が減がちです。こまめな水分・塩分補給で熱中症予防をしましょう。

② 手を清潔に

食事の前やトイレの後は手洗いを。流水が使えないときは、アルコールを含んだ手指消毒薬を使用しましょう。

③ 食中毒に注意!

出された食事はすぐに食べましょう。下痢、発熱、手指に傷がある人は、調理や配食を行わないようにしましょう。

④ 体の運動

エコノミークラス症候群の予防、寝たきりの予防のためにも積極的に体を動かしましょう。

⑤ うがい・歯磨き

うがい、歯磨きをできるだけ行い、かぜの予防、口の中の衛生を保ちましょう。

⑥ 十分な睡眠・休息

誰もが不安を感じています。休息や相談を意識してとりましょう。

⑦ 必要なときはマスクを着用

咳をしているときや、アレルギーの原因となるほこりを避けるために、必要なときはマスクを使いましょう。

⑧ 薬で困っている場合は相談を

薬が手元になかったり、薬で困っているときは、医師、薬剤師、保健師などに相談を。

次の方は避難所の事務所に申し出ましょう

妊婦の方
マタニティマークをつけた妊婦さんに
ご配慮をお願いします。

産後の方・小さいお子さまをお連れの方
病氣などで特別な食事の配慮が必要な方

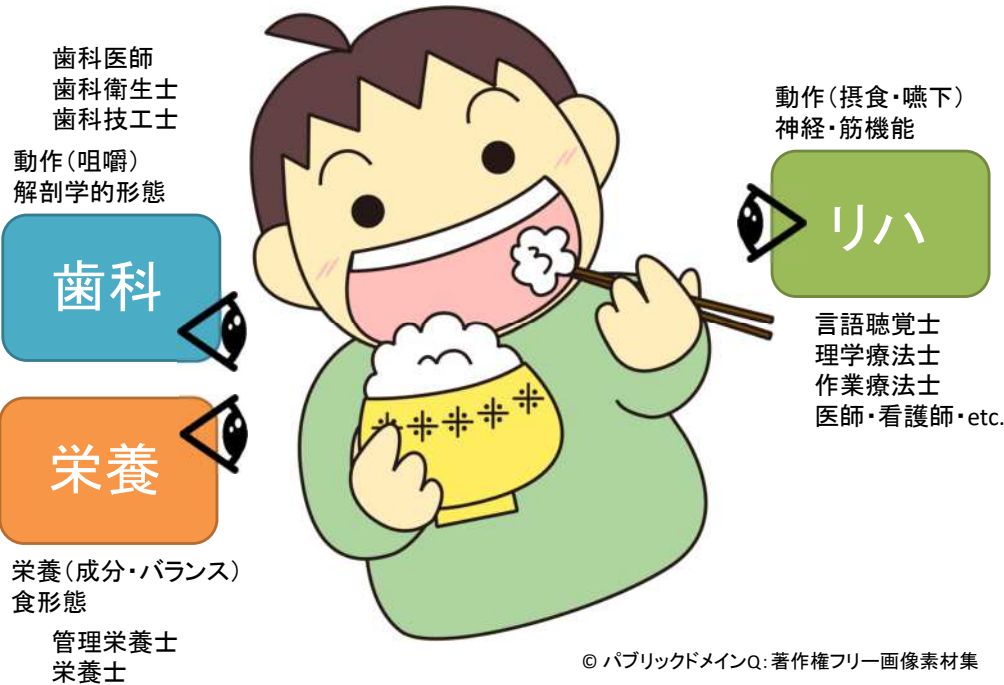
手の清潔

体の運動

十分な睡眠・休息

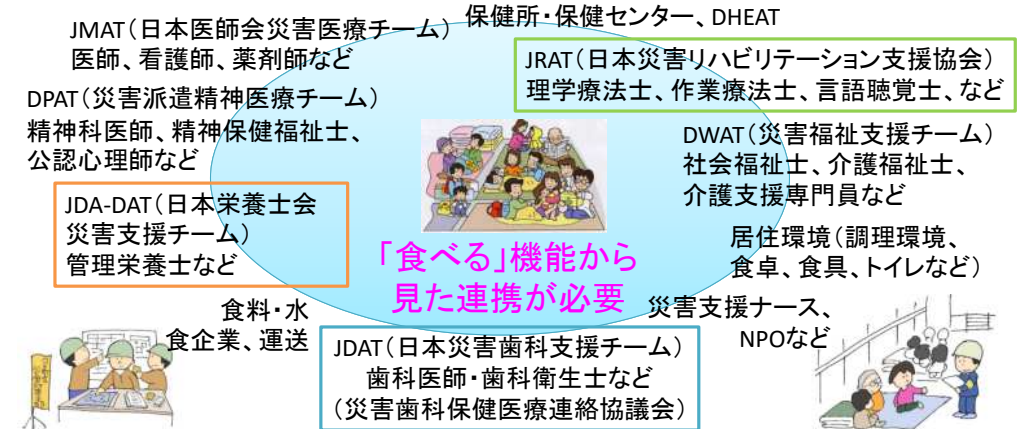
薬剤
(体調管理)

妊産婦・乳幼児
特殊食品



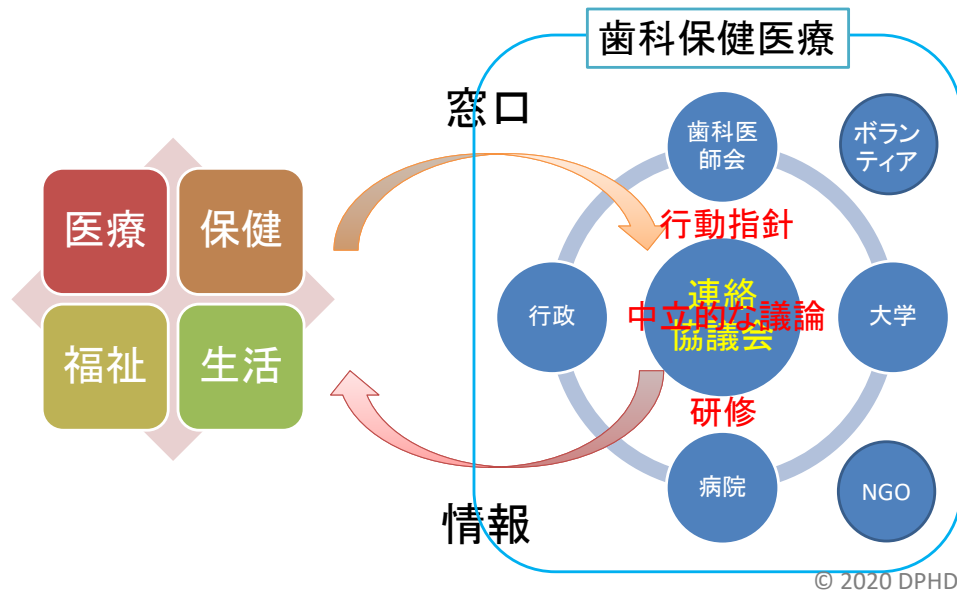
災害時要配慮者に対する “「食べる」支援”の transdisciplinary approach

- 特にフレイル予防、誤嚥性肺炎予防には、被災直後からの“「食べる」支援”が重要
- それぞれの“「食べる」支援”が連携して補いあって、はじめて、安全かつ適切に栄養を確保する



日本災害歯科保健医療連絡協議会

2015年4月～



日本災害歯科保健医療連絡協議会 ※平成27年4月設置

<目的>

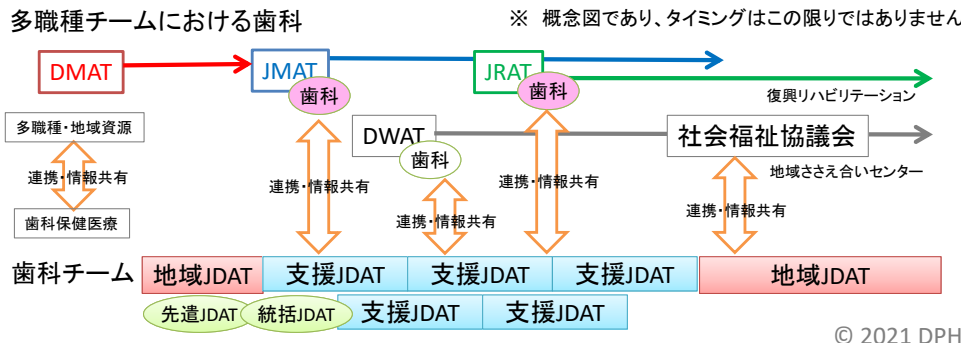
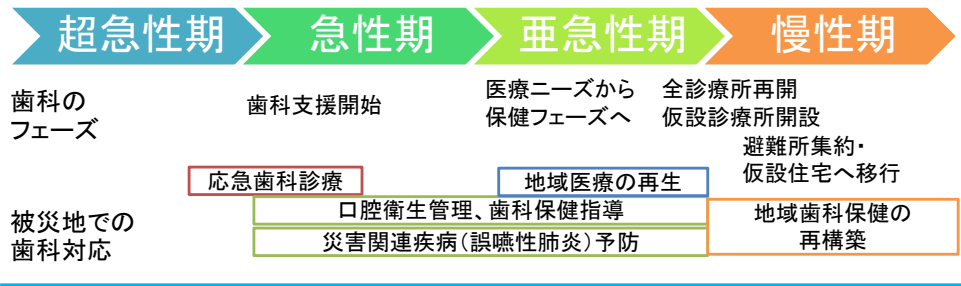
大規模震災後の避難所・仮設住宅、被災者等への歯科保健医療の提供は、(急性期から慢性期に)に至るまで、様々な歯科関係職種の継続的な支援が必要である。そのため、日本歯科医師会主導の下、歯科関係団体同士の連携や災害対応に関する認識の共通化を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の情報集約や共有を促し、有事に際して国や都道府県との連携調整を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を迅速に効率よく行うべく、協議していく。

<参画団体>

- ① 日本歯科医師会
- ② 日本歯科医学会
- ③ 日本私立歯科大学協会
- ④ 国立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議
- ⑤ 全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議
- ⑥ 日本病院歯科口腔外科協議会
- ⑦ 日本歯科衛生士会
- ⑧ 日本歯科技工士会
- ⑨ 全国行政歯科技術職連絡会
- ⑩ 日本歯科商工協会

※オブザーバー: 内閣府、厚生労働省、日本医師会(JMAT関係者)、防衛省ほか

多職種チームと 歯科チームとの連携



歯科福祉センターに期待される 災害時対応

- 災害歯科保健医療とは
- 災害時要配慮者への対応
- 歯科福祉センターに期待される役割

災害時要配慮者(要援護者)

平成25年6月 災害対策基本法改正

災害時要配慮者

防災施策において特に配慮を要する方(要配慮者)

高齢者・有病者
身体・知的・精神障害者
乳幼児・妊産婦
外国人
旅行者
等

避難行動要支援者

災害発生時の避難等に
特に支援を要する方
避難行動要支援者名簿の
作成を義務付け

個別避難計画の作成努力義務

令和3年5月 災害対策基本法改正

“亡くなった障害者等”と “助かった障害者等”の相違点

- 避難行動要支援者は**自宅での垂直避難、近隣宅への避難すら難しい**ことが明らかになった。そして、**誰ひとり一人では避難する者はいなかった。**
- 誰もが助かる社会を実現するには、正しいリスクの認知(自助)と日常の近隣と関係性(共助)の必要性が改めて確認された。そして個別避難計画策定(公助)などは、自助や共助を促進する機会として取り組む必要がある。

避難行動要支援者の実態と課題 - 2018年西日本豪雨 倉敷市真備町の事例から - 日本福祉のまちづくり学会 福祉のまちづくり研究, 第23巻, P15-24, 2021年12月1日

“亡くなった障害者等”と“助かった障害者等”の相違点

亡くなった人の実態

- 真備町内で亡くなった**51人**の内、**45人**(約88%)が65歳以上であり、75歳以上が31人(約61%)を占めている。65歳以下の死亡者6名の内、2名(親子)は知的障害者・児であった10)。
- また亡くなっていた場所の多くは、家屋内43人(約84%)であり、**1名を除いて全員が1階部分で亡くなっている。**

避難行動要支援者の実態と課題 - 2018年西日本豪雨 倉敷市真備町の事例から - 日本福祉のまちづくり学会 福祉のまちづくり研究, 第23巻, P15-24, 2021年12月1日

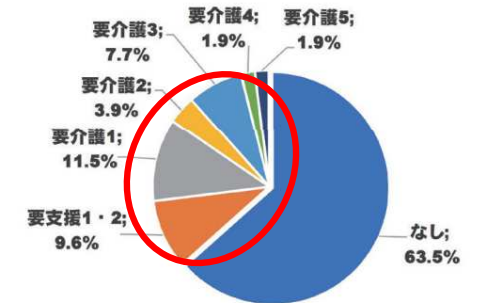
倉敷市の死者における 要介護度及び身体障害の程度

倉敷市の死者(災害関連死を除く)52人のうち、**要介護・要支援者が3分の1強(36.5%)**を占めた。「平成29年度 介護保険事業状況報告(年報)」(厚生労働省)によると、平成29年度末現在における要介護(要支援)認定者数は641万人で全人口(126,502千人、平成30年4月1日現在 = 確定値)に占める割合は**5.1%**であり、これに比べ非常に高い数値となっている。

倉敷市の要介護度別死者数

要介護度	死者数(割合)
なし	33(63.5%)
要支援1・2	5(9.6%)
要介護1	6(11.5%)
要介護2	2(3.9%)
要介護3	4(7.7%)
要介護4	1(1.9%)
要介護5	1(1.9%)
合計	52(100%)

倉敷市の要介護度別死者数の内訳



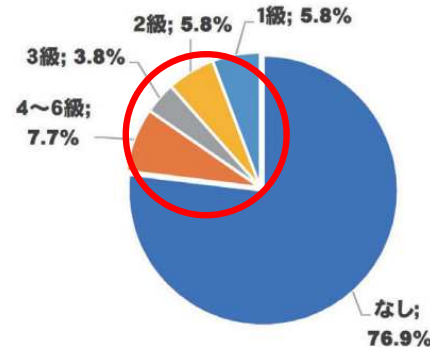
第2章 被害概要 - 岡山県 P64

倉敷市の死者における 要介護度及び**身体障害**の程度

倉敷市の身体障害の程度別死者数

身体障害の程度	死者数(割合)
なし	40(76.9%)
4~6級	4(7.7%)
3級	2(3.8%)
2級	3(5.8%)
1級	3(5.8%)
合計	52(100%)

倉敷市の身体障害の程度別死者数の内訳

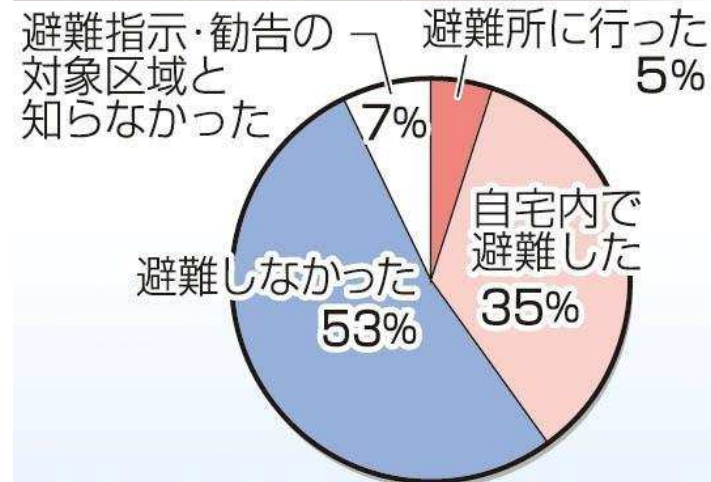


また、**身体障害者が約4分の1(23.1%)**を占めた。「平成30年版 障害者白書」(内閣府)によると、身体障害者(身体障害児を含む)は436万人で全人口(126,529千人、平成30年7月1日現在 = 確定値)に占める割合は**3.4%**であり、この場合も、数値が非常に高くなっている。

第2章 被害概要 - 岡山県 P64

「自宅で避難」35% 豪雨の避難指示・勧告区域で本紙調査 2018/7/20 神戸新聞NEXT

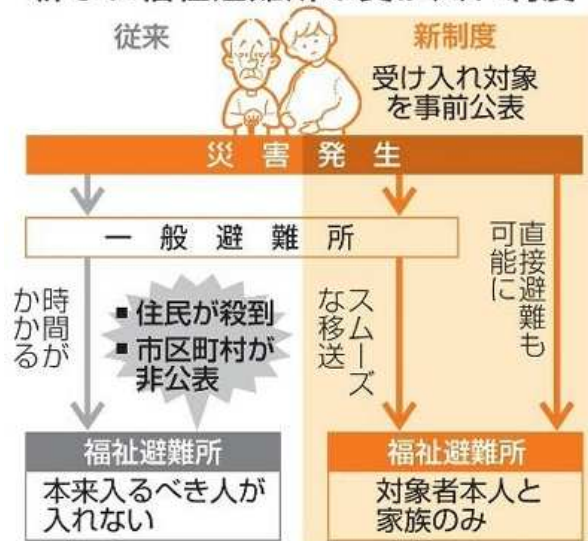
■ 西日本豪雨での避難行動



アンケートは12日午後から15日午後にかけて、ツイッターで実施。避難指示・勧告が発令された後の行動を選択式で尋ね、兵庫県内外の848人が回答した。

内閣府「福祉避難所の確保・運営ガイドラインの改定」(2021年5月)

新しい福祉避難所の受け入れ制度



福祉避難所、対象を事前公表 災害時の混乱回避に新制度 共同通信 2021/05/23

障害者らの避難計画づくり進まず 個別避難計画の作成済みは全国で1割に満たない
埼玉・千葉も1割未満
日本経済新聞 2022年8月3日



愛知県(54市町村) 令和4年1月1日現在

避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成等に係る取組状況の調査結果, 令和4年6月28日
https://www.soumu.go.jp/main_content/000822486.pdf

(注)2022年1月時点。出所は総務省

	作製済み	一部作成	未作成		
			21年度中に着手	22年度中に着手	23年度以降に着手
市町村数	3	27	2	7	15
%	5.6	50.0	3.7	13.0	27.8

台風15号から3年 医療的ケア児らの“ダイレクト避難”は進むか

NHK千葉放送局 2022年09月07日



「ダイレクト避難」では、福祉避難所や市役所など、電源が確保できる避難先に直接避難します。多くの場合、医療的ケアは家族が行えるため、受け入れ側の負担は少なく、避難先の選択肢は増えるといえます。支援センターは、台風15号の経験も踏まえて市町村に説明を行い、1人1人に合わせた個別の計画の作成を促しています。

対策が進まない現状も……

千葉県は台風15号の翌年の2020年度から、習志野市と香取広域(香取市・神崎町・東庄町)、成田市をモデル地区として、対策を進めてきました。しかし、これまでにダイレクト避難の計画ができたのは9人。計画の作成を目指しているのは子どもも大人も含めて県内に少なくとも1300人あまりいて、ごく一部にとどまっています。自治体の複数の部署や避難先、当事者との細かい調整が必要なためです。そうした中、国は去年5月にガイドラインを改定し、福祉避難所への直接の避難を「促進する」としています。さらに、あらかじめ避難所に受け入れる対象者を特定し、本人とその家族のみが避難する制度も作られ、今後は現場レベルで具体化させることが求められています。

被害想定の記事だけを見てはわからない

「首都圏直下地震」被害想定(東京都, 2022年5月25日)

- 最大建物被害約19万4400棟、避難者約299万人、死者6148人
- この10年で、建築物の耐震・耐火が進み、被害は軽減

『地震直後には停電で人工呼吸器などが停止し死亡するおそれがあるほか、数日後からは車中泊によるエコノミークラス症候群などによる死亡が、そして、1か月以上あとには、慣れない環境での心や体の不調による自殺なども想定される』

直接死 < 災害関連死

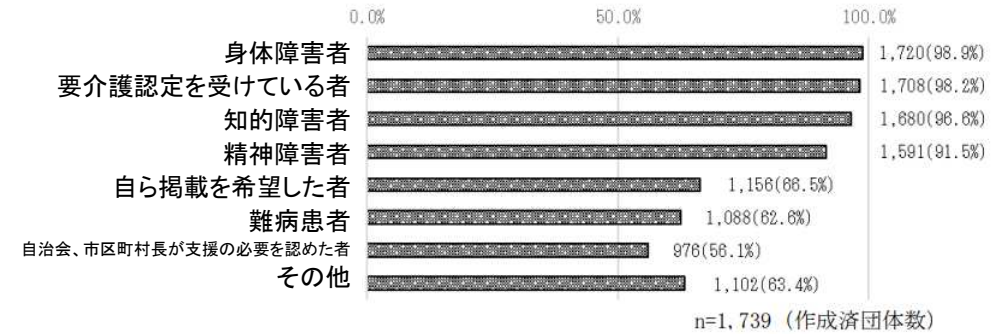
2004年 新潟県中越地震

直接死 16人 < 災害関連死 52人

2016年 平成28年熊本地震

直接死 50人 < 災害関連死 223人

地域防災計画に定める 避難行動要支援者名簿掲載者の範囲



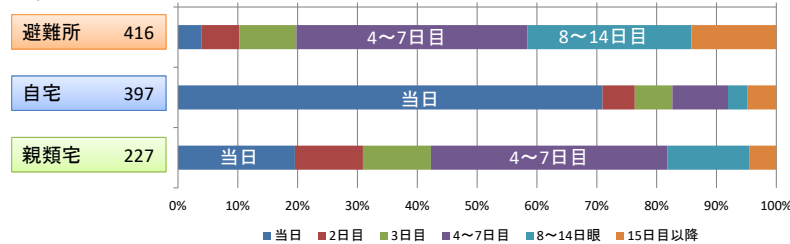
避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成等に係る取組状況の調査結果, 令和4年6月28日
https://www.soumu.go.jp/main_content/000822486.pdf

避難行動要支援者 < 避難生活要支援者

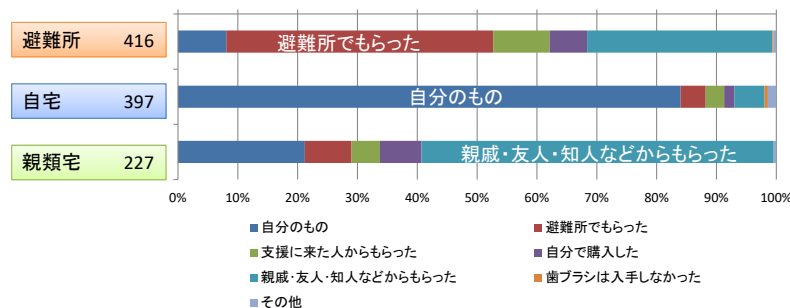
東日本大震災後の居住環境による歯と口の健康への影響に関する調査報告.
 中久木康一, 木村裕, 菅原諭子, 有川量崇, 佐藤由理. 社会医学研究. Vol.31(2)2014

支援の格差

はじめて歯ブラシが手に入った日



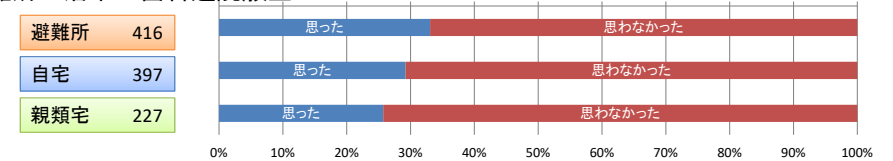
はじめての歯ブラシの入手方法



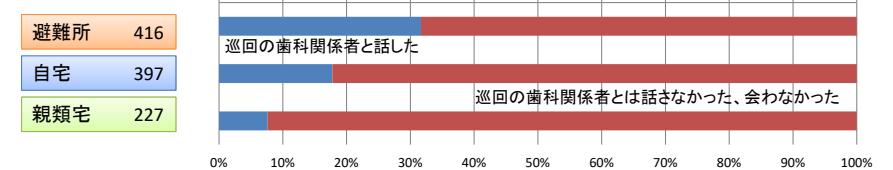
東日本大震災後の居住環境による歯と口の健康への影響に関する調査報告.
 中久木康一, 木村裕, 菅原諭子, 有川量崇, 佐藤由理. 社会医学研究. Vol.31(2)2014

支援の格差

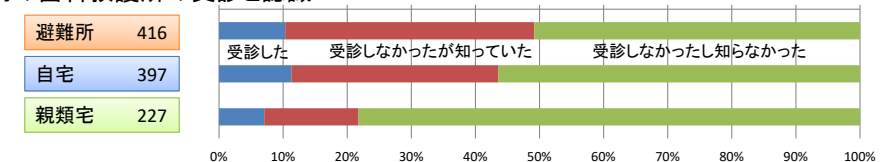
避難所生活中の歯科通院願望



避難所への巡回診療や訪問相談の歯科関係者の診察、指導



町内の歯科救護所の受診と認識

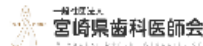


歯科福祉センターに期待される 災害時対応

- 災害歯科保健医療とは
- 災害時要配慮者への対応
- 歯科福祉センターに期待される役割

帰宅困難者への対応

活動拠点として



災害が発生し現地対策本部に行かなければならなくなりましたが・・・。

事務局の何を持ち出せば良いか？

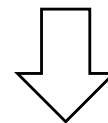


事務局のどこに何があるか？



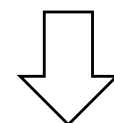
となってしまうと、
初動に遅れが出てしまう可能性があります。

家庭において、
いざ、災害が起きて、
急に**避難**しなくては
いけなくなったときに、
パッと持ち出すセット



避難時持ち出しバック

歯科医師会において、
いざ、災害が起きて、
急に**活動**しなくては
いけなくなったときに、
パッと持ち出すセット

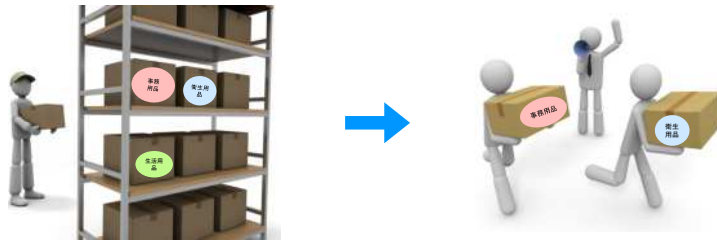


活動時持ち出しセット

初動セット

発災直後～2日目までに宮崎県歯科医師会館から先遣隊として被災地区の災害対策本部に向かい、歯科医師会の現地災害対策本部をスムーズに設置することを目的として初動セットを準備しています。

先遣隊として車1台に2～3人乗車、3日目に補給がくるまでの2日間活動に必要な物品をあらかじめ揃えておくことで、すぐに持ち出せるように整えました。



事務用品

A-1	3色ボールペン	5本
A-2	油性ペン(黒)	1本
A-3	油性ペン(赤)	1本
A-4	水性ペン(黒)	1本
A-5	水性ペン(赤)	1本
A-6	鉛筆	1ダース
A-7	消しゴム	5個
A-8	バインダー(A4)	5個
A-9	ライティングシート	1ロール
A-10	ネームホルダー	5個
A-11	養生テープ	1個
A-12	付箋(75×75mm:90枚)	5冊
A-13	付箋(75×25mm:90枚)	5冊
A-14	コピー用紙(A4:500枚入り)	1パック
A-15	クリアファイル(A4)	10枚
A-16	電池(単3)	8本
A-17	電池(単4)	8本
A-18	クリップ(100個入り)	1個
A-19	ダブルクリップ 小(10個入り)	1パック
A-20	セロハンテープ	1巻
A-21	ガムテープ	1巻

A-22	両面テープ	1巻
A-23	施設・避難所等歯科口腔保健ラピッドアセスメント票	50枚
A-24	口腔ケア啓発ポスター	100枚
A-25	県、各地区地図	1冊
A-26	携帯用ラジオ	1台
A-27	PC	1台
A-28	ハンディスキャナー	1台
A-29	ポケットWi-Fi	1台
A-30	のぼり(歯科医師会)	1本
A-31	延長コード(3m)	2本
A-32	デジカメ	1台
A-33	SDカード	1枚
A-34	プリンター	1台
A-35	プリンタインク(黒)	1個
A-36	プリンタインク(カラー)	1個
A-37	USBフラッシュメモリ(128GB)	2個
A-38	ピプス(歯科医師会)	5着
A-39	歯科医師会会員名簿	1冊
A-40	災害対策マニュアル(県歯)	1冊
A-41	大規模災害行動計画(日歯)	1冊
A-42	現地災害対策本部用携帯電話	2台

事務用品金額 113,130円

* 太字部分が今回購入品。それ以外は既に購入または、準備済みのもの。

衛生用品

B-1	フェイスシールド	8枚
B-2	マスク(50枚)	1箱
B-3	グローブ(S)	2箱
B-4	グローブ(M)	2箱
B-5	グローブ(L)	2箱
B-6	手指消毒スプレー	2本
B-7	体温計	2台
B-8	歯ブラシ(1箱:100本入り)	1箱
B-9	義歯ケース(10個入り)	1箱
B-10	オーラルプラス口腔ケアウェットティ(携帯)30枚入り	20パック
C-1	長期保存水(500ml×24本)	1箱
C-2	カロリーメイトロングライフ(2本入)	12箱
C-3	ヘッドライト	4個
C-4	携帯用トイレ(4人×1日5回×2日分)	40回分
C-5	トイレトペーパー	5ロール
C-6	ボックスティッシュ	2箱
C-7	ゴミ袋(燃える)	2枚
C-8	ゴミ袋(燃えない)	2枚
C-9	古新聞	2日分
C-10	災害備蓄用毛布	4枚
C-11	シガーソケットコンセント	2個
C-12	歯科検診セット(ディスク)	50組
C-13	収納コンテナ	2個

衛生用品金額 15,094円

生活用品

生活用品金額 46,348円

* 太字部分が今回購入品。それ以外は既に購入または、準備済みのもの。



事務用品

衛生用品

生活用品

113,130円 + 15,094円 + 46,348円

計 174,572円

今回の初動セットについて

- ・物品が揃い次第、プラスチック製のケース等に収納し、すぐに持ち出せるよう準備していく予定。
- ・そのため、液だれを起こしてしまったり、腐ってしまう物は選ばず、乾電池など使用期限のある物は定期的に入れ替えていけるように在庫表で管理しようと考えている。
- ・事務用品に入っているデジカメ、ハンディスキャナーは携帯電話やアプリで代用できる可能性があり、最小限に済ませるためには削除可能ではないかと考えている。
- ・携帯電話、ポケットWi-fiは普段よりの使用用途、通信費、災害時の通信事業者や行政、医療・福祉関連職種も含めた協定と併せて検討中。

口腔保健（歯科）センターにおける災害対策に関するアンケート調査報告

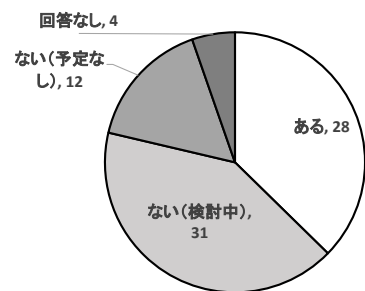
平成29年6～7月に、日本障害者歯科学会災害時対応検討委員会が実施

日本障害者歯科学会のホームページに障害者歯科診療を実施している口腔保健（歯科）センターとして申請登録している98施設にアンケート用紙を郵送

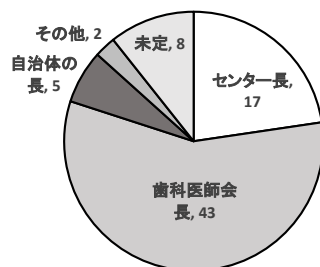
77施設からアンケート回答があり、回答に不備のある2施設を除外した75施設の結果を集計分析（有効回答率76.5%）

アンケートにご協力いただいたセンター各位に御礼申し上げます

センター防災マニュアルはあるか



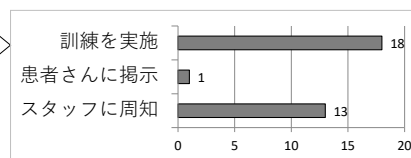
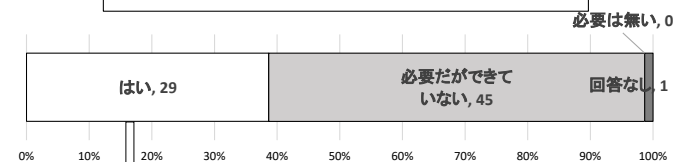
災害時の指揮官



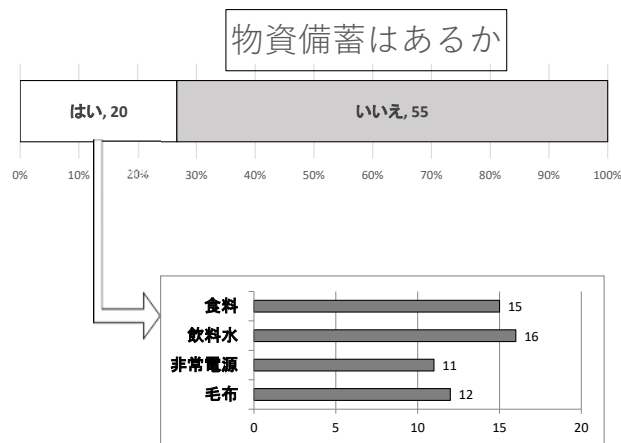
災害時のセンターの役割について指示されている：19施設（25.3%）

患者の避難方法

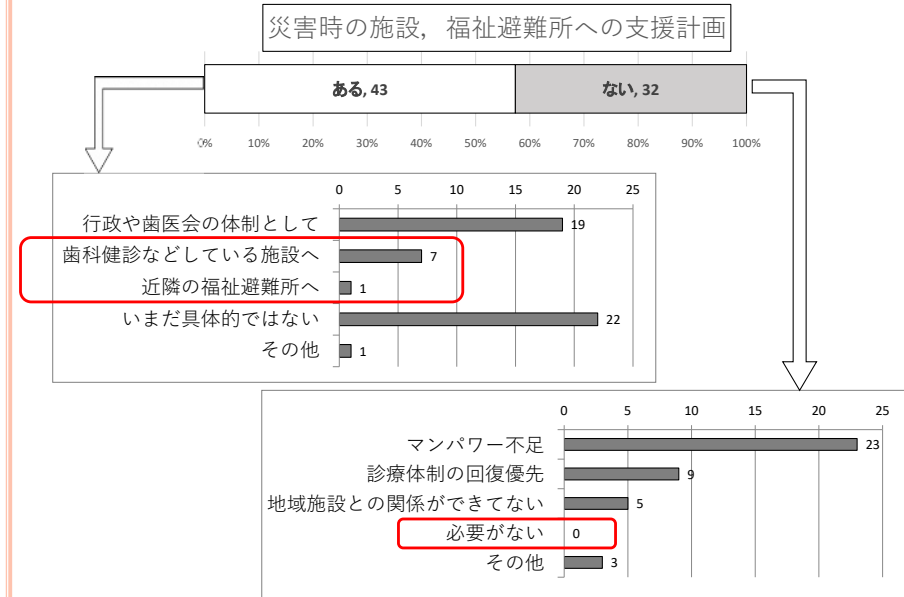
患者の避難方法は定めているか



物資の備蓄状況



災害時の施設、福祉避難所への支援計画



まとめ

- センターの80%は**歯科医師会が運営**し、37%は**歯科医師会関連施設と同じ建物内**にある。
- 診療状況は様々であるが、**週5日以上診療**を行う施設も30%ある。訪問(33%)や健診(53%)など**センター外での活動**も行われている。
- **常勤歯科医師**がいるのは40%、**常勤歯科衛生士**がいるのは72%。ともに非常勤のみ12%。
- 避難方法策定は38%、防災マニュアルは37%、物資の備蓄は26%。
- **災害時支援計画**は57%があるが、具体策は未定が多い。
- 週3日以上診療しているセンターは常勤歯科医師がいる割合、災害時支援計画のある割合が高い。

災害時の障害者歯科支援の拠点として期待できる

日本障害者歯科学会

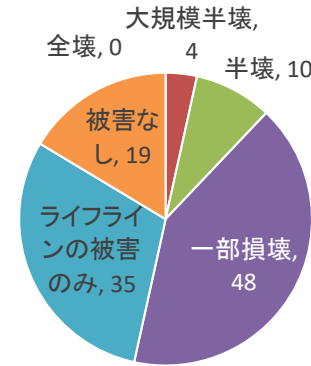
- 障害者・障害児歯科診療を行っている口腔保健(歯科)センターにおける防災計画策定の手引き(初版)
(2022年)
- 障害者歯科医療機関 備蓄チェックリスト
(2022年)

「熊本地震の直後の、障がいのある方々の生活と歯科」に関するアンケート調査結果まとめ(18歳未満)

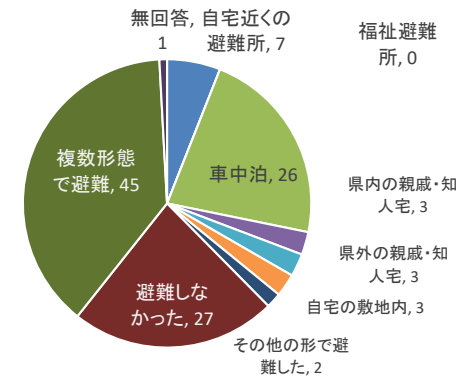
対象

- 下記に来所した**知的・発達障害児者**およびご家族
 - 熊本市歯科相談事業
 - (一社)熊本県歯科医師会口腔保健センター
 - 放課後等デイサービス ぶーやん
- 調査期間: 2017年8月7日～9月10日の5週間

自宅の被災状況 n=116

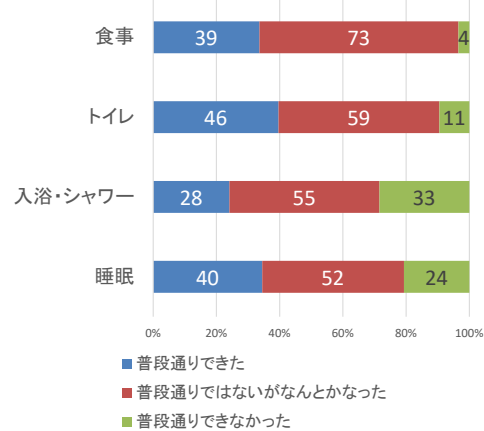


避難状況 n=116

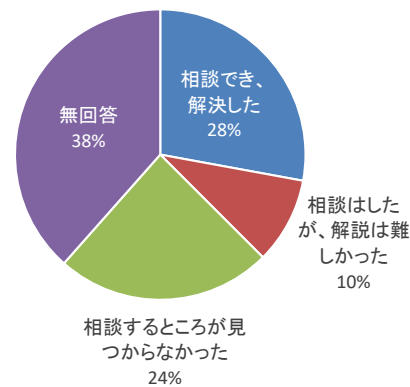


回答者の半数は自宅に大きな被害はなかったが、余震の恐怖などから車中泊を選択したという人が多かった。一時期遠隔避難したり、車中泊の場所(会社・避難所・自宅敷地)が変わったりと、時期に応じて避難形態を変えた人も4割近かったが、**福祉避難所を利用した人はいなかった。**

避難生活中の、食事や生活などの困りごと n=116

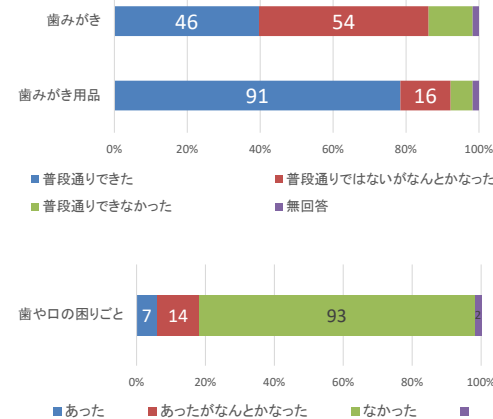


食事や生活の困りごとの相談はできたか n=104

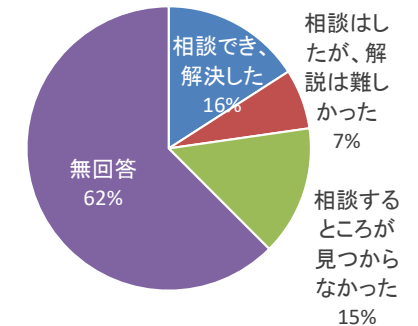


避難生活中に、食事や生活などの困りごとがあった人は半数以上おり、多くが自助努力でなんとかしていた。回答者の中では、そのうち**6割がどこかに相談できていた。**

避難生活中の、歯や口の困りごと n=116



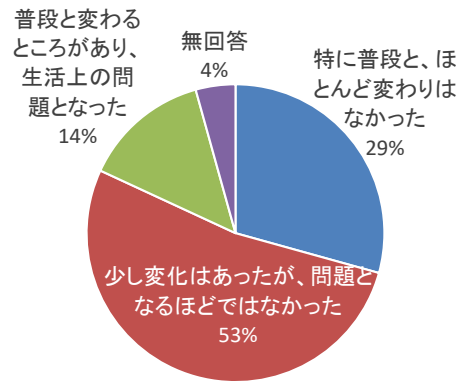
歯や口の困りごとの相談はできたか n=88



歯みがきや、その用品は、**8割ではなんとかあった。**避難生活中に歯や口の困りごとがあった人は2割程度だった。食事や生活と同様に、回答者の中では、困りごとがあったうちの**6割がどこかに相談できていた。**

本人に普段と違う様子が あったか

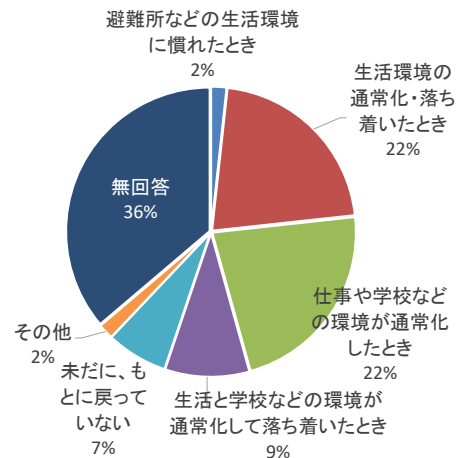
n=116



何かしらの変化があった人が多く、14%は生活上の問題となるほどだった。それらの変化が、**未だ(1年4か月後)**に戻っていないという人も7%いた。

本人の心や行動が元に戻ったと感じた時期

n=116



【結果】

- 障害児者の変化として、「**過敏や吃音などの症状がひどくなった**」「**トイレに行けなくなった**」「**食事を食べなくなった**」「**ストレスから爪をはがしていた**」などが出ていたが、生活環境が元に戻るとともに症状は落ち着いている場合が多かったものの、それ以降戻らず困っている例もあった。
- 避難にあたっての問題点は、「**一般の避難所では落ち着かずに難しい**」「**見た目では特性を理解していただけない**」「**並んで待つことができないので受け入れられなかった**」などがあげられ、車中泊や遠隔避難を選択せざるを得なかった背景がうかがえた。

- 歯科の問題点としては、「**水や歯ブラシがなく歯みがきできなかった**」「**緊張から表情も固まり車中泊の間は歯ぎしりをしていた**」「**口内炎ができたり歯肉炎がひどくなった**」などが挙げられた。
- 防災対策としては、「**ガムや口腔ケア用ウェットティッシュを常備しておけばよかった**」などの備蓄の大切さをあげたものが多かった。「**口腔機能改善の体操やマッサージをしてあげればよかった**」という反省もあった。
- 支援に対しては、「**かかりつけ歯科から案じた電話をいただき嬉しかった**」「**工夫する方法などを避難所などに掲示してほしい**」という支援提案とともに、「**慣れた歯科でなければ口を開かない人も多い**」と難しさも指摘された。

【考察】

- 東日本大震災以降、災害時の障害児者への配慮は福祉避難所の整備や関係団体・自治体からの対応マニュアルの発行などを通じて進められてきたが十分であったとは言えず、見直しがなされている。
- 歯科保健活動も、より早期により広範に行われる体制が構築されることが望ましい。
- 食事や生活の困りごとと同様に、歯や口の困りごと6割が相談できていたが、**残り4割の方々は相談先がなかった**。
- 車中泊や遠隔避難など、アプローチの困難な状態になることも少なくなく、**平時よりの関係づくりが重要**である。

【結論】

災害時には、歯科ニーズの有無にかかわらず、適切な物資や情報を届けるための活動が必要と考えられた。平時よりの関係性が活用されていると考えられ、災害時にもこれを継続できるような体制づくりが重要である。

【謝辞】

調査に回答いただきました障害児者およびご家族の方々、そして、ご協力いただきました組織・職員の皆様に、深謝いたします。

なお、本調査は学校法人神奈川歯科大学研究倫理委員会「熊本地震における歯科支援に関する研究」(承認番号第447番)の一環として行い、第34回日本障害者歯科学会総会・学術大会(2017年10月28日・29日、福岡国際会議場)にて発表しました。

※ 開示すべきCOI関係にある企業・団体等はありません

知的障がい者は、もしもの時こんなことに困ります

知的障がい者は、見た目ではわかりづらく、困っていても周りが気が付かないことがあります。もし災害時、こんな行動をとっている人を見たら、助けが必要かもしれません。

不安
社外な顔で立ちまわったり/寄り添む

あっちこちウロウロ
どうしていいかわからない

移動の時
知的障がいがあるため、災害の状況が理解できず、ピンと来ないかもしれません。自力では避難ができません。安全な所に連れて行ってもらうことで避難の不安が和らぐと思います。パニックになる人もいます。そのときの状況や避難前であることが理解しにくいので、バックリジスチャーを覚えてもらえたら助かります。

避難先で…
スペースについて
知らない人が大勢いる避難所では、ストレスを感じてパニックになりやすいです。仲間と隣り合うスペースが必要です。また、服用している薬がある場合は薬作用でトイレに行きたくらいに、使い慣れない個室トイレは使われるまで我慢がかります。できればトイレの近くにスペースがあると助かります。
トイレについて
トイレの場所がわからず、利用の仕方が分からぬ状態、使った場所がわからず、トイレの近くまで移動が難しいです。トイレの場所や利用の仕方を教えてくださると助かります。

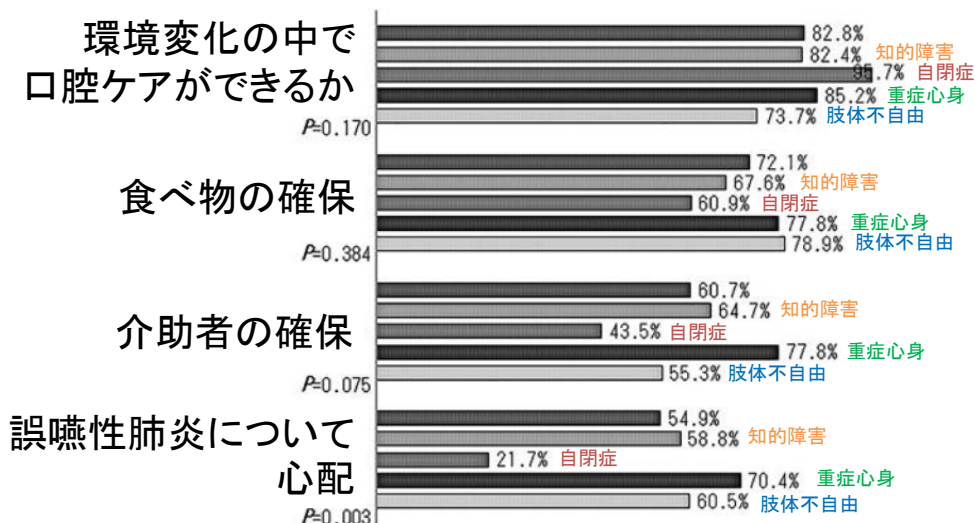
知的障がい者とのコミュニケーションに役立つもの
コミュニケーションカード
避難所の避難先や、相手に伝えたいことを書いておくことが助かります。カードを見せたら、何か伝えたいときのために覚えておいてください。

安心するもの
パニックになっている時や一人で困っているときに本人が慣れ入りの物があると安心します。(指とパルスではみんながそれぞれ安心するものを図にチェックを入れています。親しんでください。)

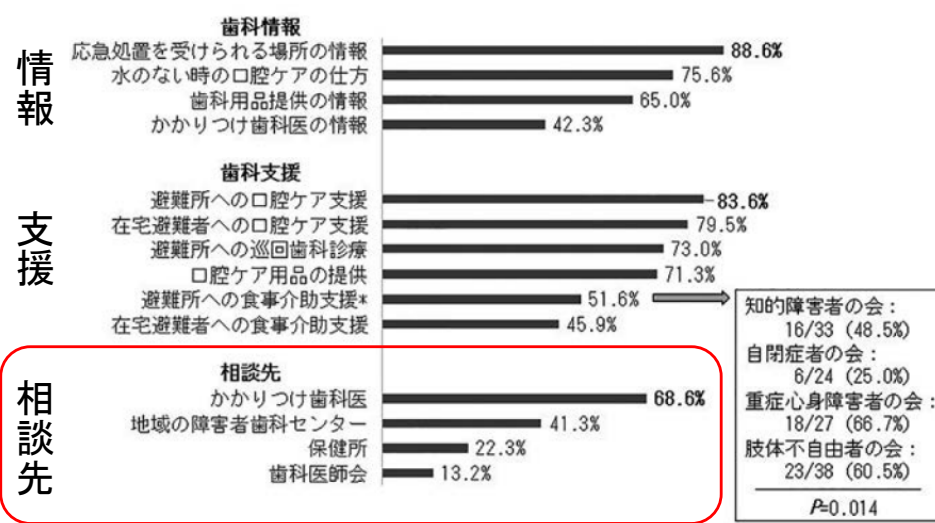
一緒にあそぶ
買ったリズムをしたり、遊んで気を紛らわすことで心が和らぎます。一緒にあそんでください。

大災害時に歯や口のことでは心配されること

■全体 ■知的障害者の会 ■自閉症者の会 ■重症心身障害者の会 ■肢体不自由者の会



大災害時に必要な歯科情報・歯科支援および相談先



某県 「障がい者を持つ保護者の会」 からのリクエスト

自宅待機あるいは避難しないといけなくなった
時の気になること(歯科口腔・医療関連) 1/3

- 重度障がい児者がどのように過ごしたか？ど
のように対処してきたか(支援があったの
か?)をうかがいたいです。
 1. 普段飲んでいる薬が足りなくなったときど
うするか？
 2. 経口摂取しているが、嚥下食を食べてい
る重度障がいの方々は、避難所で食べられ
るものがあるのか？

自宅待機あるいは避難しないといけなくなった
時の気になること(歯科口腔・医療関連) 2/3

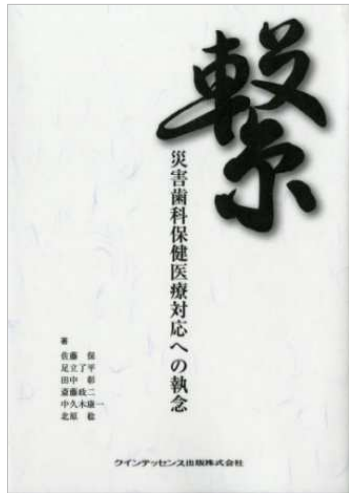
- 自宅では食べやすい防災食などを少し準備してい
ます。また、電気があれば、フードカッターで普通食
をミキサーしたりして、トロミ剤があれば食べさせる
ことができます。ですが、もし、一定期間の避難所生
活を余儀なくされたら、嚥下困難な我が子に何を食
べさせたらいいのだろう・・・ととても不安です。
- 正直、福祉避難所であれば、そのあたりの対応も可
能かもしれませんが、必ず福祉避難所に行けるとは
限らないし、まずは身近にある一次避難所を利用す
ると思います。排泄に関しても、紙おむつが必要で
す。

自宅待機あるいは避難しないといけなくなった
時の気になること(歯科口腔・医療関連) 3/3

- 私たちは必要なモノがある家で、できるだけ待機で
きる状態でありたいですが、家に居ることによって、
孤立して情報が来ないということになるのが心配で
す。自宅待機者へのサポートはどのようなものがある
のでしょうか。
- 実体験から特別な配慮が必要な方々の災害時の対
策について、どうしたらいいか、まだ問題としてどん
なことがあるかも含めて教えていただけたら幸いで
す。当事者家族の会としても、できることについて考
えたいです。

繋 つなぐ

災害歯科保健医療対応への執念



はじめに

佐藤 保

第1章「怨念」見殺しにしてしまった

足立了平

第2章「連携」経験を引き継いで活かす

田中 彰

第3章「使命」生還者に与えられた役割

齋藤政二

第4章「継続」気づけばみんないなくなった

中久木康一

第5章「責任」災害時の公衆衛生こそ

行政の責務

北原 稔

B6判 / 192ページ / 2016-07-10 発売 定価 1,980円(本体 1,800円+税10%)

A 普段飲んでいる薬が無くなりそう！

- もしも地域の医療が動いていなくても、DMATのチームに薬剤師さんがいますし、薬剤の確保は自治体と卸業者などの協定のもとに行われていますので、そちらの正規ルートに則れば手配可能と思います
- お近くの避難所の管理側に居る人(特に医療関係)に伝えてもらえればつながるはずですよ
- うまく繋がらない時は、普段の病院や薬局に相談すればなんとかしてくれると思います
- もしくは薬剤師会に連絡ください

A 避難所で嚥下食が入手できるか？

- 避難所で食べられるものが無い場合、栄養士会がやっている「特殊栄養ステーション」が調理せずにそのまま食べられる形態のものを手配してくれます(アレルギーの方なども対応しています)
- これも、お近くの避難所の管理側に居る人(特に医療関係)に伝えていただければ、その中にいる栄養士さんが対応してくれるはずですよ
- うまく繋がらない時には、栄養士会に連絡ください

A 嚥下困難児への一般の避難所におけるサポートは？

- 一般の避難所の管理は、なかなか行き届いていないのも現実です
- 普段から、中学校区ごとに避難訓練をするような地域であれば、「インクルーシブ防災」として、地域の配慮の必要な方も一緒に避難する、という避難方法・経路や避難所生活の訓練がされており、配慮がある場合もあるかもしれませんが、自分達に合うものは多くはないでしょう
- 機会があれば、そのような訓練に参加し、自分たちの避難を手伝って欲しい、自分たちが避難所で生活するにはこういう配慮が必要、ということを伝えると、そこから「ではどうしたらよいだろうか」と検討を始めてくれると思います

A 在宅避難者へのサポート／情報

- 在宅避難は、コロナもあって勧められる面も出てきました
- まずはハザードマップや建築基準法、家具の固定などを見直し、いざという時に家から出られないなどにならないようにしてください
- 在宅避難であっても、必要な物資は避難所で受け取れることとはなっていますが、なかなか使いやすいものではないようです
- 自治体の「災害時に確認する人リスト」に入っていることが大切で、避難しないにしても、避難行動要支援者に登録して個別避難計画をたて、災害時には具体的に誰がどのような方法で自分を気にしてくれるのか、を決めておいた方がいいと思います

A 特別な配慮が必要な方々の 災害時の対策 1/2

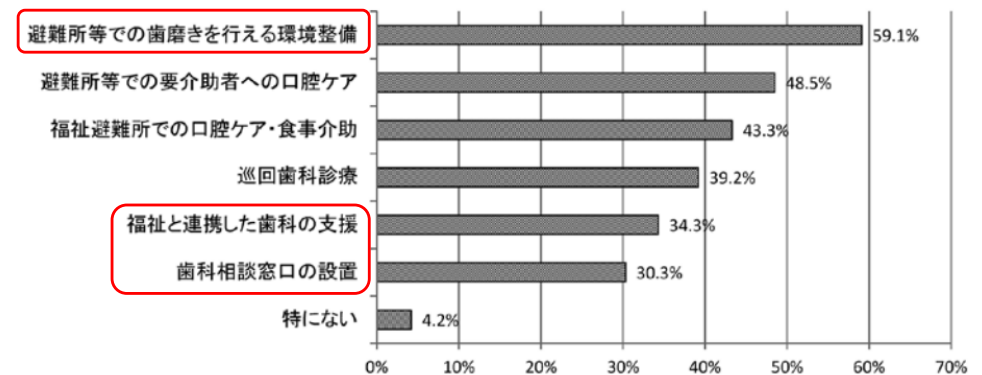
- 医療的ケア児のための防災マニュアル 倉敷地区重症児の在宅医療を考える会
<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/278879.pdf>
- 医療機器が必要な子どものための災害対策マニュアル～電源確保を中心に～
https://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/cooperation/shinsai_manual.pdf

A 特別な配慮が必要な方々の 災害時の対策 2/2

- 災害時の障害者避難等に関する研究報告書 平成26年4月 全国社会福祉協議会 障害関係団体連絡協議会 災害時の障害者避難等に関する研究委員会
https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_1040399_9_po_20140530_jisedai.pdf?contentNo=1&alternativeNo=
- 令和2年度障害者総合福祉推進事業 障害のある潜在的要支援者を災害時に支援する準備のための手引きと事例集 2021年3月
https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/00079779_1.pdf

大災害時に歯科に期待すること

岩手・宮城・福島の大東大附属障害者担当歯科を平成26年3～6月に受診した423名
(知的障害約55%、自閉症約25%、肢体不自由約10%)



大災害時に歯科に期待することとして、「避難所等で歯磨きが行える環境整備」(59.1%)が最も多く選択され、次に「避難所等における介助を必要とする人の口腔ケア実施」(48.5%)、「福祉避難所等における口腔ケア・食事介助等の実施」(43.3%)と続いた。

“繋ぐ”

＝

必要時、自分で責任を持って繋げる

障害者歯科学会 災害対策委員会

災害対策委員会

口腔保健(歯科)センターにおける防災計画策定の手引き

災害時対応行動指針(改訂版)

日本障害者歯科学会災害時初動対応マニュアル(初版)

お悔み文

口腔保健センター等もしくは、学会事務局まで

平成30年7月豪雨

災害時も口腔ケアは大切です！

日本障害者歯科学会からのお知らせ

このたびは平成30年7月豪雨により、被災された皆様によりお見舞い申し上げます。また、食と口、食べることに関り事がありました。このなかで歯科医、障がい児者の歯科診療を行う大学や口腔保健センター等は、学会事務局までお問い合わせください。

現在、本学会が、確認できている広島県内の障がい児者の歯科診療を行っている口腔保健センターや大学病院で通常通り診療している施設もお知らせいたします。診療時間等の詳細については、各施設のホームページ等でご確認ください。

日本障害者歯科学会	http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh-hp/html/
広島大学病院 障害者歯科	https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp
広島口腔保健センター	http://www.hpda.or.jp/khc.html
広島県立障害者リハビリテーションセンター	http://www.rehab-hiroshima.org/

他の被災地(岡山県、愛媛県)において、障害者・障害児歯科診療を行っている口腔保健センターや大学病院で通常通り診療している施設については、学会ホームページよりご確認ください。



被災後、肺炎の発症が心配です

食べる機能や飲み込む機能が十分ではない障がいのある方への口腔ケアは重要です

最大の予防方法は、「口腔ケア」です

- ①ご本人専用の歯ブラシやスポンジブラシを使用してください
- ②うがいがいのできない方へは、マウスウォッシュをスポンジブラシやキッチンペーパーに吸わせて、口腔内をぬぐってあげてください
- ③保湿剤を利用して口腔乾燥を予防しましょう

発行責任者 日本障害者歯科学会災害支援委員会 平成30年7月発行

平成30年10月胆振東部地震

障がいのある方々にとって 災害時も口腔ケアは大切です！

北海道歯科医師会・日本障害者歯科学会からのお知らせ

被災された皆様によりお見舞い申し上げます。障がいのある方々の歯と口、食べることについて困りごとがありましたら、お近くのかかりつけ歯科医、障がい者歯科医療協力医、障がいのある方の歯科診療を行う大学や口腔保健センター等にお問い合わせください。

日本障害者歯科学会	http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh-hp/html/
北海道障がい者歯科医療協力医	https://doushi.net/hsski/index.html



被災後、肺炎の発症が心配です

食べる機能や飲み込む機能が十分ではない障がいのある方への口腔ケアは重要です

最大の予防方法は、「口腔ケア」です

- ①ご本人専用の歯ブラシやスポンジブラシを使用してください
- ②うがいがいのできない方へは、マウスウォッシュなどをスポンジブラシやキッチンペーパーに吸わせて、口腔内をぬぐってあげてください
- ③保湿剤を利用して口腔乾燥を予防しましょう

発行責任者 日本障害者歯科学会災害支援委員会 平成30年7月発行

第39回 日本障害者歯科学会総会 および 学術大会 in 倉敷

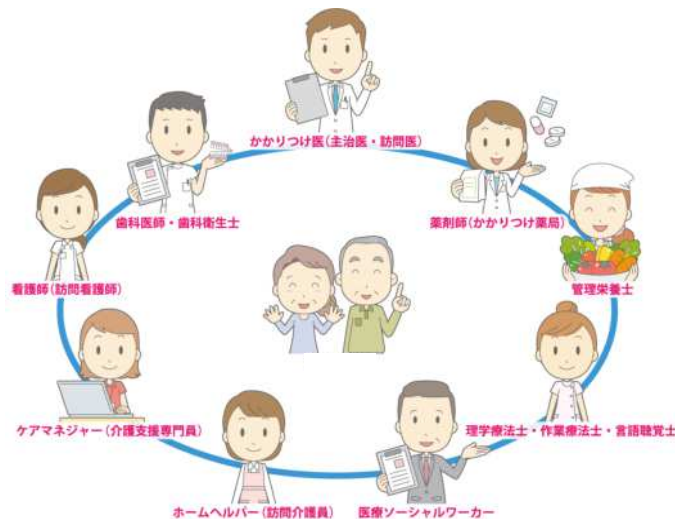
併催:第2回アジア障害者歯科学会(AADOH)

● 災害対策委員会企画
大規模災害被災地での歯科支援～障がい児・者を含めたネットワークづくりを！

11月6日(日) 10:05～11:35 C会場(倉敷アイビースクエア 1F オパール)

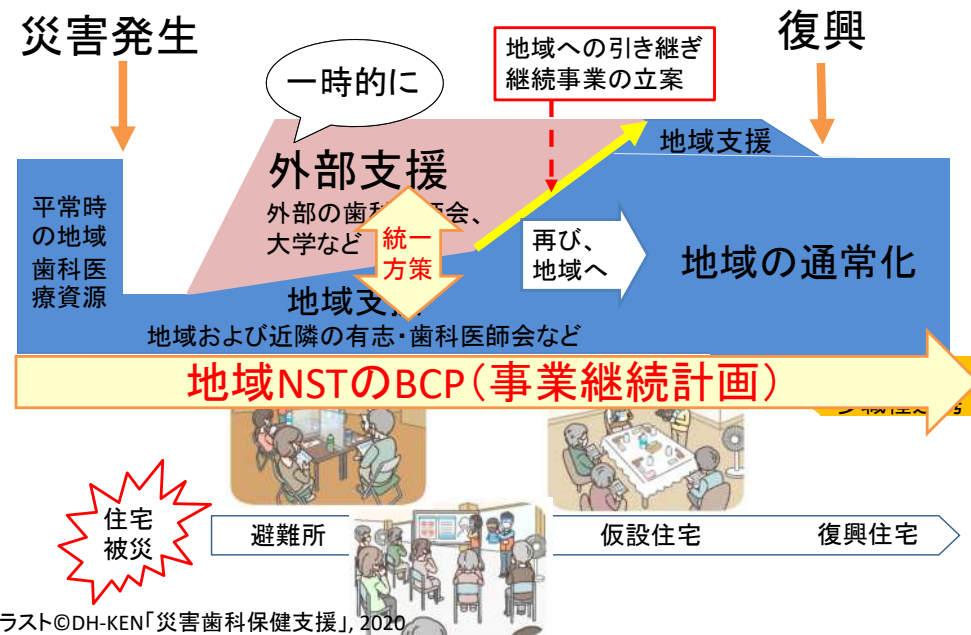
- 座長** 松尾 浩一郎 (東京医科歯科大学大学院地域・福祉口腔機能管理学分野)
河瀬 聡一朗 (石巻市雄勝歯科診療所)
- 演者** 服部 清 (公益社団法人 日本障害者歯科学会 災害対策委員会)
小玉 剛 (公益社団法人 日本歯科医師会)
小前 みどり (公益社団法人 日本歯科衛生士会)
鈴木 史郎 (社会福祉法人 全国社会福祉協議会)

直後から迅速な支援を行うためには？ → 災害時にも機能を継続できる地域NST



中部地区医師会 在宅ゆい丸センター (在宅医療・介護連携推進事業)

災害時歯科支援の引き継ぎへの流れ

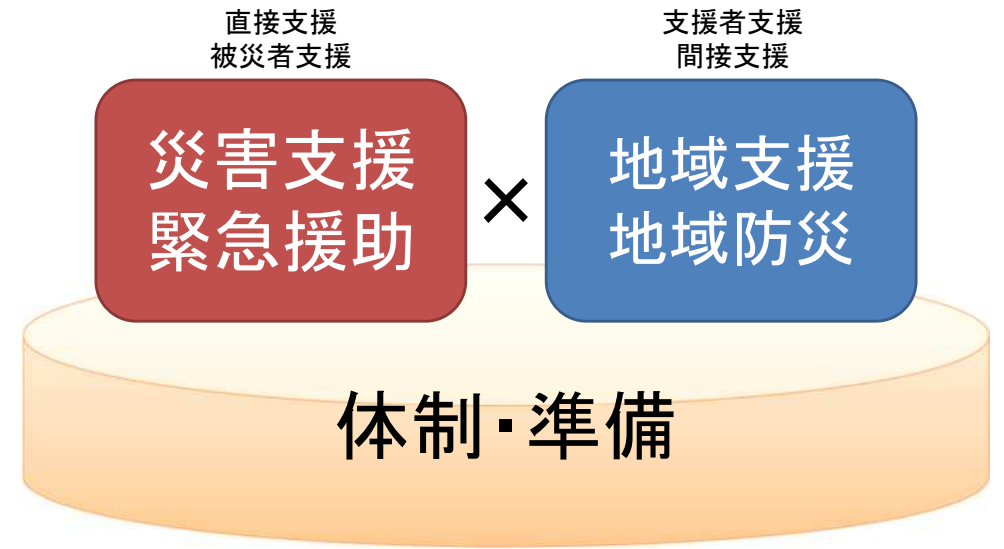


イラスト©DH-KEN「災害歯科保健支援」, 2020

災害対策のキーワード

- 普段通り
- 普段をどこに設定するのか
- いかに普段通りをキープするのか

災害対応 → 対策・防災



お近くの方々にもお伝えください。配布等に承諾は不要です。

熊本地震で被災された皆さまへ
いつもの生活を取りもどすための役立つ情報まとめ

政府からのお知らせ
2016年4月28日発行
2016年5月12日更新
2016年5月18日更新

いつもの生活を取りもどす！

↓

いつもの生活を続けられる準備をしよう！

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

災害の「備え」チェックリスト

※郵務/内閣府政務統括官(防災担当)、内閣府男女共同参画局

非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの!

<input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 食品 <small>(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意)</small> <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 衣類・下着 <input type="checkbox"/> レインウェア <input type="checkbox"/> 紐なしのズック靴 <input type="checkbox"/> 懐中電灯(※手動充電式が便利) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(※手動充電式が便利) <input type="checkbox"/> 予備電池・携帯充電器 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく <input type="checkbox"/> 救急用品 <small>(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)</small> <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ブランケット	<input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ペン・ノート <p>—— 感染症対策にも有効です!! ——</p> <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 体温計 <p>—— 一緒に持ち出そう!! ——</p> <input type="checkbox"/> 貴重品 <small>(護照、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど)</small>
---	---

- 子供がいる家庭の備え**
- ミルク (キューブタイプ)
 - 使い捨て哺乳瓶
 - 離乳食
 - 携帯カトラリー
 - 子供用紙オムツ
 - お尻ふき
 - 携帯用お尻洗浄機
 - ネックライト
 - 抱っこひも
 - 子供の靴

- 女性の備え**
- 生理用品
 - おりものシート
 - サニタリーショーツ
 - 中身の見えないごみ袋
 - 防犯ブザー／ホイッスル

- 高齢者がいる家庭の備え**
- 大人用紙パンツ
 - 杖
 - 補聴器
 - 入れ歯
 - 入れ歯用洗浄剤
 - 男性用吸水パッド
 - デリケートゾーンの洗浄剤
 - 持病の薬
 - お薬手帳のコピー

備蓄品
お家に備えておくもの！

- 食料や水 (最低3日分!できれば1週間分) × 家族分
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能!
- 生活用品
例えば、ティッシュ、トイレトイペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ…など

ほかにも、家庭に必要なものは日ごろから備えておきましょう

誰にでも いつでも 健康で幸せに生活する 機会のある社会を

日本歯科医師会 Japan Dental Association

国民のみなさま 歯科医師のみなさま 日本歯科医師会

活動要領・行動指針・規則
根拠法・協定
共通書式・アクションカード
参考文献
日歯8020テレビ
障害研修ライブラリー
eラーニング

自分でできることは?
今回はそんな中でもお口の健康を守る為に
自分自身でできることをお伝えします

日本歯科医師会 Japan Dental Association

歯8020テレビ
歯とお口の情報

災害時こそ大切！
お口のケア
<1>備えておくこと
<2>自分でできること

動画で一般向けに平易につくられています
(それぞれ6分ほど)
過去に災害時に地元
ケーブルTVで放映さ
れたこともあります

災害時こそ大切！お口のケア

- ダウンロード 0:08 <1>備えておくこと (60.0MB)
- ダウンロード 5:38 <2>自分でできること (67.2MB)

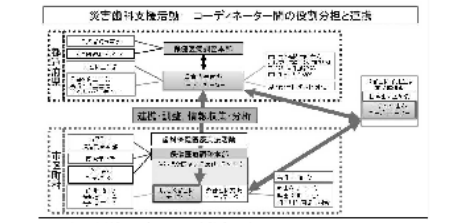
大規模災害時の歯科的 コーディネート

～最も重要なことは？～

大規模災害時の歯科的コーディネートの重要性について、中久木 誠一、牛島 盛、田村 大祐、人田 秀人による解説。



はじめに
日本歯科医学会が2019年福井県地震災害の被災地を巡回し、被災地での歯科診療の現状や被災者のニーズについて調査を行いました。被災地では、被災者の多くが被災による歯科的被害を被っており、被災者の歯科的被害を軽減し、被災者の生活の安定を図ることが喫緊の課題となっています。



大規模災害時の 歯科的コーディネート

**日歯会員の方は無料で受講できるはず
ぜひ、スタッフとともに、
ご視聴ください**

**日歯Eシステム
生涯研修ライブラリー**

研修会事前研修のeラーニングについて、研修会事務局よりご説明いたします。

研修項目	講師	時間	形式	研修科目	研修ステータス
01 災害時の歯科診療体制	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	終了済み
02 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
03 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
04 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
05 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
06 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	終了済み
07 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
08 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
09 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
10 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
11 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
12 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
13 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	終了済み
14 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
15 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格
16 災害時の歯科診療体制の重要性	日本歯科歯科大学 研修センター	15分	動画	研修済み	合格

**共通書式
マニュアル
ポスター**

災害時、私たちにできること



被災者の避難生活で生じます。被災者のための実践マニュアルです。基本姿勢や平時の備え、現場での具体的な行動手順などをまとめました。

被災状況に合わせて歯科衛生士の支援活動を円滑に行うための実践マニュアルです。基本姿勢や平時の備え、現場での具体的な行動手順などをまとめました。

**共通書式などは全てこちらに載っています
歯科医師もこちらから
ご確認ください**

PDF: 災害歯科保健活動 歯科衛生士実践マニュアル2021

マスクをしたままできる お口の体操

～唇や舌、頬などの筋力アップをすることは全身の健康へとつながります。
美味しく安全に食べて健康に過ごしましょう～

- ①唇をとがらせて前に突き出す
- ②左右にしっかりと引く
- ③大きく開ける
- 唇を閉じ、唇の内側で舌をくぐる回す

①唇をふくらます ②唇をへこます ③左右交互に頬をふくらます ④唇をしっかりと閉じ上下交互に唇をふくらます

開口訓練
①口を最大限に大きく開ける
②10秒間 保持する
③10秒間 やすむ
④②③を繰り返す

前舌保持嚥下訓練
①舌を少し前に出し、唇を閉じる(舌を強く咬まないよう注意し、まよふ)
②そのまま、つばをゴックンと飲み込む

食前や空き時間に5回～10回行いましょう



いつかのもしものために、いまできる学びを。

DH-KEN 防災のためのラーニング

コンテンツ 災害歯科保健 公開中!!

災害が発生したとき、歯科衛生士としてできること、すべきことは、本コンテンツでは、災害支援の仕組みや地域保健活動の観点をはじめ、災害時の歯科の役割と歯科衛生士の活動の実際、多職種との連携の取り方などを、幅広くフォローしています。いつかのもしものに備えて、いまできる学びがここにあります。

多彩なテーマが小分けで学びやすい! DH-KENの災害歯科保健

1 災害時の保健医療支援とは			
● 災害と支援の仕組み	奥田 博子	23分	約3時間
● 災害時の地域保健	奥田 博子	13分	
● 災害時の被災者の心理	奥田 博子	23分	
2 災害時の歯科支援の仕組み			
● 災害時の歯科の役割と業務	中久木 真一	15分	約3時間
● 災害支援における歯科衛生士の役割	久保山 裕子	16分	
● 災害時の歯科衛生士の活動の実際	久保山 裕子	13分	
● 災害時の歯科口腔アセスメントの体系化/実際(地域)	中久木 真一	17分	
● 災害時の歯科口腔アセスメントの実際(個人)	中久木 真一	17分	
3 災害時の支援における連携			
● 災害歯科保健活動における多職種との連携	久保山 裕子	23分	約3時間
● 被災者の心情に配慮した歯科保健活動	中久木 真一	17分	
● 災害歯科保健活動における「食べる」支援	中久木 真一	13分	

約3時間

歯科衛生士・保険診療用書籍代別冊 2,970円
日本歯科衛生士会 正会員 1,782円
歯科医師・歯医・その他 4,455円

いつでもアクセス! <https://dhken.jp>

DH-KENは公益社団法人日本歯科医師会、日本歯科衛生士会のラーニングサイトです。

DH-KENは、歯科衛生士のためのラーニングサイトです。

**これ全て見て学んだ方は、
日衛に登録されます**

歯科衛生士 2970円
日衛正会員 1782円
歯科医師その他 4455円

今日を愛する。
LION

製品情報 「今日を愛する。」レポート

HOME > 災害時の清潔・健康ケア情報

災害時の清潔・健康ケア情報

災害時の清潔・健康ケア情報

life.love. LION 防災 ライオン

災害時の清潔・健康ケア (印刷)

災害時の手の清潔、オーラルケアについてご案内し
最近刊行のご案内

災害時の清潔・健康ケア

災害時は、避難所生活や水不足など、生活していく上で衛生上のリスクが高まるため、体を清潔に保ち、健康に留意することが重要です。体力のないお子様やご高齢の方は特に注意が必要です。

災害時の手の清潔

多くの人が出入りする避難所などでは、いつもより手が汚れがちです。手を清潔に保ちましょう。

汚れた指を拭き取る
水で洗いきれないときの手のケア方法
乾かす時間を短くする

災害時のオーラルケア

オーラルケアが不十分だと、ムシ歯や歯周病、感染症や細菌性肺炎などのリスクも高まります。

- ハブラシがないとき
- よくかんで食べる
- 食後に水を飲む
- 歯を軽く磨く
- 入れ歯をお使いの方は

LION 防災 ライオン

災害時の清潔・健康ケア情報

非常時持ち出し品チェックリスト

災害時のための清潔・健康ケアBOOK

災害時に忘れてはならないのは **お口の健康** です

「お口」は健康の入り口です

災害時に備えるための準備

お口の清潔

非常時持ち出し品チェックリスト

非常時持ち出し品チェックリスト

災害時のための清潔・健康ケアBOOK

災害時に忘れてはならないのは **お口の健康** です

「お口」は健康の入り口です

災害時に備えるための準備

お口の清潔

方

覚えてください、防災にオーラルケア。

健康は、おuchi、からだ。災害時の備えにオーラルケアを。

SUNSTAR

歯みがき、お口のケアはあなたの命を守ります!

肺炎を防ぐために歯みがきを!

入れ歯をきれいにして肺炎を防ぎましょう

ハブラシがないとき

だ液を出す工夫を

水が少ないときの歯みがき

健康は、おuchi、からだ。災害時の備えにオーラルケアを。

SUNSTAR

Mouth & Body Topics VOL.3

健やかな口 健やかな身体

人々の健康を口から守る ～災害時の伝染性肺炎予防の事例から～

中久木 康一
東京歯科大学 歯学部 歯内科学講座 歯内科学科 教授

足立 了平
東京歯科大学 歯学部 歯内科学講座 歯内科学科 教授

防災にオーラルケアが発見された

歯みがき、お口のケアはあなたの命を守ります！

歯みがき、お口のケアはあなたの命を守ります！

災害発生時に求められる対応

「災害対策」と聞いて、何を思い浮かべますか？ それぞれの歯科医院では、地震で倒れるように家具などを固定する、避難路を作る、帰宅経路や避難経路を確認しておく、水や食糧を蓄積しておく

災害発生時の対応

「災害対策」と聞いて、何を思い浮かべますか？ それぞれの歯科医院では、地震で倒れるように家具などを固定する、避難路を作る、帰宅経路や避難経路を確認しておく、水や食糧を蓄積しておく

災害発生時の対応

「災害対策」と聞いて、何を思い浮かべますか？ それぞれの歯科医院では、地震で倒れるように家具などを固定する、避難路を作る、帰宅経路や避難経路を確認しておく、水や食糧を蓄積しておく

Special topic

被災したとき、何ができます 「準備しておけばよかった」と後悔しない

災害発生時に求められる対応

「災害対策」と聞いて、何を思い浮かべますか？ それぞれの歯科医院では、地震で倒れるように家具などを固定する、避難路を作る、帰宅経路や避難経路を確認しておく、水や食糧を蓄積しておく

災害発生時の対応

「災害対策」と聞いて、何を思い浮かべますか？ それぞれの歯科医院では、地震で倒れるように家具などを固定する、避難路を作る、帰宅経路や避難経路を確認しておく、水や食糧を蓄積しておく

voice

水害後の地域住民のお口を守る！

～気づかされたこと・これからやらなければ～

水害後の地域住民のお口を守る！

～気づかされたこと・これからやらなければ～

水害後の地域住民のお口を守る！

～気づかされたこと・これからやらなければ～

DH Style 2020年12月～2021年3月号

Special topic

東日本大震災後の女川町における 歯科保健事業

東日本大震災後の女川町における 歯科保健事業

東日本大震災後の女川町における 歯科保健事業

東日本大震災後の女川町における 歯科保健事業

女川町の震災後10年の歯科保健事業

女川町の震災後10年の歯科保健事業

女川町の震災後10年の歯科保健事業

女川町の震災後10年の歯科保健事業

地域保健 7 2022

災害時の保健活動を再考する

避難所の現状と課題

災害時の保健活動を再考する

避難所の現状と課題

災害時の保健活動を再考する

避難所の現状と課題

避難所の現状と課題

なぜ、保健対策に 口腔ケアが必要なのか

避難所の歯科保健の重要性

なぜ、保健対策に 口腔ケアが必要なのか

避難所の歯科保健の重要性

なぜ、保健対策に 口腔ケアが必要なのか

避難所の歯科保健の重要性

医歯薬出版

歯科医院の 防災対策ガイド

歯科医院の 防災対策ガイド

歯科医院の 防災対策ガイド

歯科医院の 防災対策ガイド

災害歯科保健医療 標準テキスト

災害歯科保健医療 標準テキスト

2021年12月発刊！

災害時の 歯科保健医療対策

災害時の 歯科保健医療対策

2015年6月15日発刊 一世出版 2000円！

緊

緊

2016年7月10日発刊 クインテッセンス出版 1800円！

災害歯科医学

災害歯科医学

2018年2月1日発刊 医歯薬出版 7,200円



2021年12月24日発売！
一世出版
本体2,900円(税込み 3,190円)

Contents	
はじめに	
第1章 災害歯科保健医療	
1. 災害歯科保健医療概論	12
2. 災害歯科支援チームの実践に向けて ～関係機関・団体における連携の重要性～	20
3. 保健所実地におけるロジスティクス担当者の役割	28
4. 災害時における歯科医団体の対応	34
5. 災害時の歯科保健活動 ～目的、評価、体制～	40
第2章 国における災害対応	
1. 大規模災害時における政府の初期対応について	50
2. 災害時における保健所の対応	54
3. 厚生労働省における災害医療体制	62
4. 防衛省・自衛隊における災害派遣活動	70
第3章 活動における連携・共有	
1. 災害時の歯科保健活動 ～歯科医団体の役割分担、多職種での連携～	76
2. 日本医師会の災害対応	82
3. サイコロジカル・ファーストエイド ～心理的応急処置：PFA～	96
4. 歯科医師のための災害復興法学的アプローチ	104
第4章 災害時における備忘録	
1. 歯科における備忘録体制	114
2. 災害時における大規模災害時等の多職種連携体制について ～歯科所長による備忘録の有効性～	126
3. 海上保安庁における保存書	128
参考資料	
・JDAT 目的、概要	133
・施設、業務所等 歯科口腔保健 ライフラインアセスメント書（単田・高瀬）	134
・歯科保健活動実地アクションカード	136
・Q&A集	142
・用語集	145

日本災害時公衆衛生歯科研究会
<http://jsdphd.umin.jp/>



日本災害時公衆衛生歯科研究会
Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (D

メーリングリスト
各種書式・パンフレット
研修媒体動画
研修会資料・動画

